

# MOHO USER MANUAL

**KERNOM**  
M O H O

v1.0 - 5/11/23

## オーグメンテッド・アナログ・ファズへようこそ！

この度はMOHOをご購入いただきまことにありがとうございます。  
あなたが手にしているペダルは、世界初のオーグメンテッド(拡張型)・アナログ・ファズペダルです。最先端のテクノロジーにより、内部の主要なコンポーネントの動作をリアルタイムでコントロールすることができます。

MOHOは、ヴィンテージからモダンなものまで、様々な伝統的なファズからインスピレーションを得ています。未来的なトーンをミックスし、有名なアナログ回路の繊細さと過激さがかつてない方法で融合させた独特なサウンドの世界へいざないます。

あなたがMOHOでどんな表現をするのか、この回路からどんなサウンドを引き出すかはすべてあなた次第であり、その可能性を探求するために費やす時間の産物なのです。

## インスピレーションをあなたに！

Kernomチーム

## 概要&仕様 - コントロールと接続

- 1** フロントパネル P. 2
- 2** MOOD コントロール P. 3
- 3** リアパネル、機能、仕様、電源 P. 4

## KERNOM コミュニティ

- 4** はじめに：サウンドの作り方 P. 5
- 5** サンプルセッティング P. 6

## ユーザー機能

- 6** プリセットの保存と呼び出し P. 7
- 7** プリセットの編集 P. 8
- 8 A** MIDIプリセットの編集 P. 9
- 8 B** MIDIプリセットの編集 P. 10

## 外部コントロール

- 9** エクスプレッション・ペダル P. 11

## その他の設定

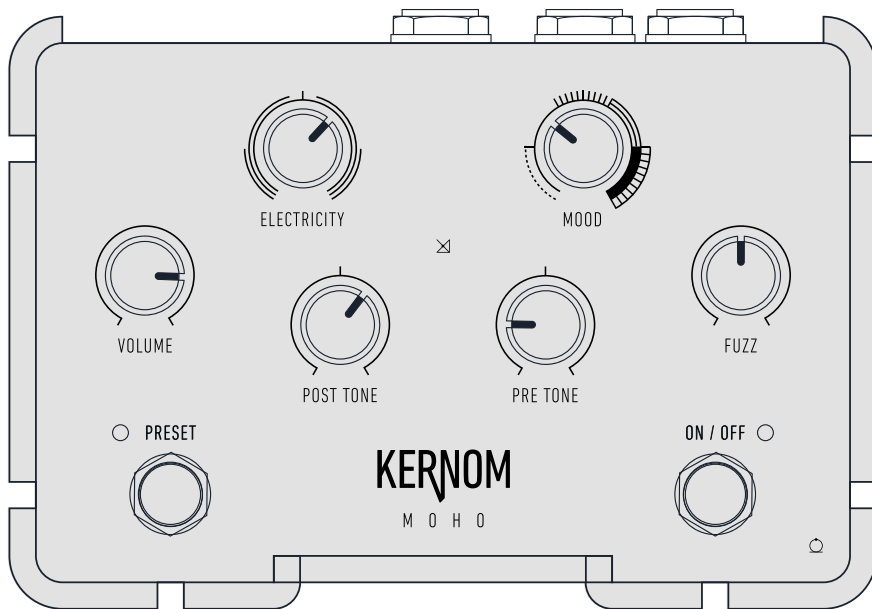
- 10** ファクトリーリセット P. 12

## MIDIの設定

- 11** MIDI 機能について P. 13
- 12** MIDI チャンネル設定 P. 14
- 13** MIDI プリセット保存 1/2 P. 15
- 14** MIDI プリセット保存 2/2 P. 16
- 15** MIDI を使ったエクスプレッション・ペダルの設定 1/2 P. 17
- 16** MIDI を使ったエクスプレッション・ペダルの設定 2/2 P. 18
- 17** MIDI CC 入出力 P. 19
- 18** MIDI THRU/MIDI OUT の切替 P. 20

# 1 概要 & 仕様 - コントロールと接続

## フロントパネル



### ON/OFF FOOTSWITCH

エフェクトのON/OFF を切り替えます。  
OFF 時はリレー式のトゥルーバイパス仕様です。

### PRESET FOOTSWITCH

MOHOは外部機器を使用することなくお気に入りの設定を保存、呼び出しが可能です。  
フットスイッチを長押しして設定を保存します。  
フットスイッチを押すと保存されたプリセットと現在のノブ設定が切り替わります。

### LED

使用状況に応じてペダル機能の現在の状態を表示します。

### VOLUME

ペダル全体の音量を調整します。

### POST TONE

クリッピングステージ後段で、出力サウンドを太くヘビーなトーンから美しく鳴り響くトーンまで調整します。MOOD の設定に依存しますが、12 時のポジションが最もニュートラルなポジションです。左に回すとローエンド、右に回すとプレゼンスが強調されます。

### PRE TONE

クリッピングステージの前段で、ギター信号に対する反応を変化させます。MOODの設定に依存しますが、12 時のポジションが最もニュートラルなポジションです。左に回すと芯が太くなり、右に回すと輝きが増します。

### FUZZ

信号のゲイン量をコントロールします。MOOD の設定によって異なります。

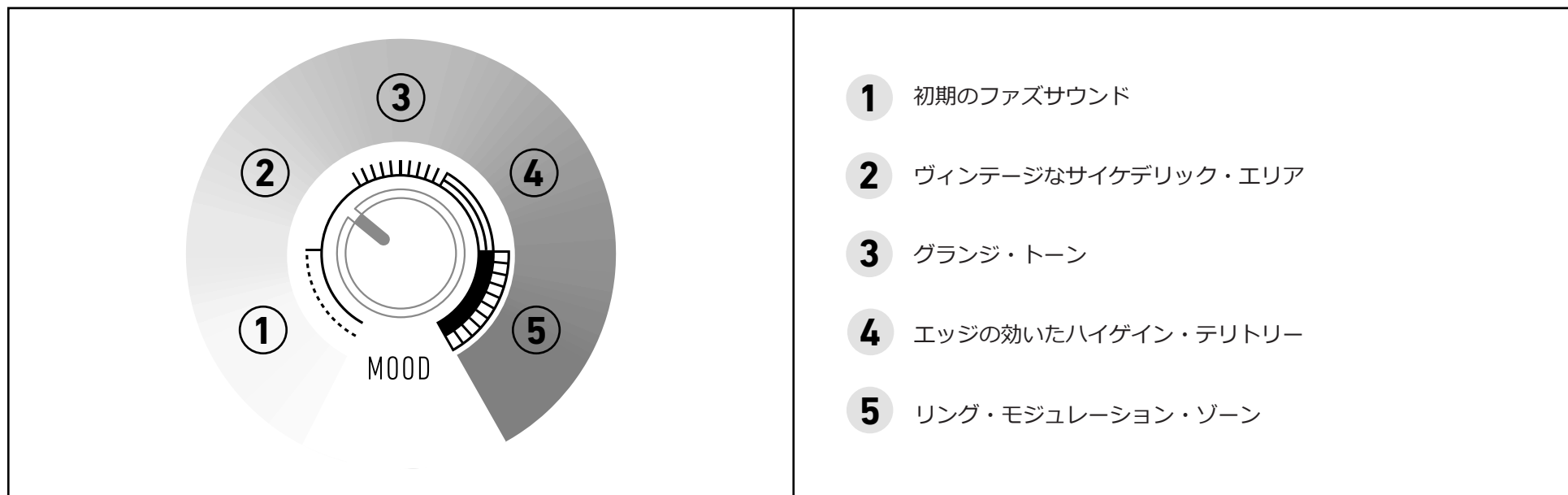
### ELECTRICITY

特徴的なELECTRICITYコントロールはオクターバーとして機能し(左で1オクターブ下、右で1オクターブ上、センターポジションではオクターブは加算されない)、MOODコントロールの最後のポジションのリングモジュレーター選択時には周波数コントロールとして機能します

### MOOD

ファズの動作タイプを設定します。ゲートッドファズのようなアンダーバイアスのトランジスタ・ステージから サイケデリック・ファズのウォームなスクリーミングサウンド、よりモダンなリードトーン、そして最後にフル・リングモジュレーター回路まで設定可能です。

### MOODコントロール



**MOODノブは、特許取得済のユニークなアナログ・モーフィング・コア・テクノロジー・エンジンをコントロールし、ペダルの挙動を定義する鍵となるコントロールです。**

MOODノブを回すのは、ペダルの音色を選ぶのと同じだと考えてください。ファズペダルを取り換えて異なるファズのスタイルを得るのと同じです。

ノブの最初の1/3の領域は、ファズ・フェイスやトーン・ベンダーのような象徴的なFZ1ペダルを彷彿とさせるよりヴィンテージなサウンドに特化しています。

最後の1/3の領域は、よりデジタルで未来的なサウンドでファズの新たな領域を開拓します。

このコントロールはシームレス(無段階)なので、ノブのレンジの各ポイントで異なる音色にアクセスできます。MOHOは、何百ものアナログ・ファズトーンをシンプルでシームレスなインターフェースを備えたペダル1台に収めたものです。

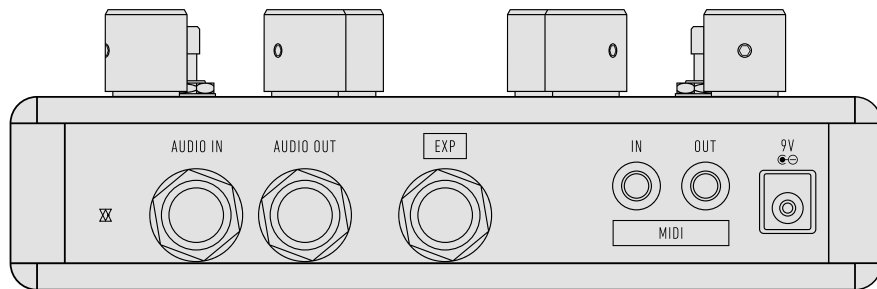
これが、MOHOが "Augmented Analog" (拡張アナログ) ペダルと呼ばれる所以です—このペダルは、信じられないほどのサウンドを実現するアナログ・ペダルに、必要とされるすべての汎用性を備えています。

思い描くサウンドを素早く見つけられるようにMOODを5つの "ゾーン" に分けて表示していますが、各ゾーンには共通の特徴を持つ数十種類の音色が含まれています。

このゾーン表示は初見でのペダルの使用を簡単にするためのものですが、MOODノブと他の5つのノブを組み合わせることで、さまざまな使い方をすることができます。

### 3 概要 & 仕様 - コントロールと接続

## リアパネル



#### AUDIO IN

1/4" モノフォンケーブルを使用して楽器を接続する INPUT ジャックです。

#### AUDIO OUT

1/4" モノフォンケーブルを使用してアンプや次のエフェクターと接続するOUTPUT ジャックです。

#### EXP

TRS(Tip-Ring-Sleeve) ケーブルを使用して外部エクスプレッション・ペダルを接続します。エクスプレッション・ペダルですべてのノブを連動させてコントロールすることが可能です。

#### MIDI IN/OUT

MIDI コントロールチェンジやプログラムチェンジ等に対応した機能を備えたMIDI入出力端子です。詳細はP.12 をご参照ください。MOHOは、MIDI 接続にTRS ミニジャック・タイプAを採用しています。外部アダプター(本品には付属していません) を使用すれば、5 ピンDINコネクターにも対応します。

#### POWER

このジャックにアダプター(別売) のプラグを接続してください。駆動電圧は9VDC センターマイナス、消費電流値は 250mA です。

## FEATURES

- トウルーパーパス
- エクスプレッション・ペダルInput
- MIDI IN/OUT
- 本体にプリセット1 個を保存可能
- MIDI を使用して127 個のプリセットを保存可能
- ウルトラ・ローノイズ出力
- ツアーでの使用にも耐える5mm 厚シャーシ

## SPECIFICATIONS

入力インピーダンス:	1M $\Omega$
出力インピーダンス:	100 $\Omega$ t
バイパススイッチング:	トウルーパーパス( エレクトロメカニカル・リレー・スイッチング)
サイズ:	112mm(D) x 164mm(W) x 52mm(T)
重量:	850g 850g

## POWER ADAPTER REQUIREMENTS

DC9V センターマイナス、250mA 以上のアダプター(別売)をご使用下さい。  
電流値が300mA 以上のアダプターを推奨いたします。

## 4 はじめに：サウンドの作り方

### 最初のペダルのコントロールを容易にするために以下の簡単なステップから始めてください：

このポジションは、サイケデリックな雰囲気や恍惚とさせるクラシックなファズサウンドです。



#### 1. PRE TONEの調整

左に回すと、音に厚みが増し、よりコンプレッションされたトーンになります。

右に回すと、サウンドがよりダイナミックになり、ローエンドが抑えられます（FUZZの設定も試してみてください）。音や演奏に対するペダルの反応が大きく変わります。

#### 2. POST TONEの調整

より滑らかなトーンにしたい場合は左に、よりシャープなトーンにしたい場合は右に回します。

#### 3. ELECTRICITYの調整

左に回すとオクターブ下の音を加えられます。アナログのオクターバーなのでモノフォニックで独自の個性を持っています！また、演奏のダイナミクスにも反応します。

右に回すとオクターブ上の音が追加され、ヴィンテージのOctaviaやSuper Fuzzを彷彿とさせるトーンになります。

#### 4. 全てのノブをスタートポジションにして、MOODの設定を変えてみましょう。

最初のMOODゾーンでは、バイアスはMOOD最小値で完全にアンダーバイアスから始まり、9時のポジションあたりで発生する最初の明確な変化まで徐々に増加します。この範囲ではゲート感の強いサウンドが得られます。FUZZとPRE TONEコントロールをこの範囲内で調整すると、ギタープレイに対する反応に大きく影響をします。

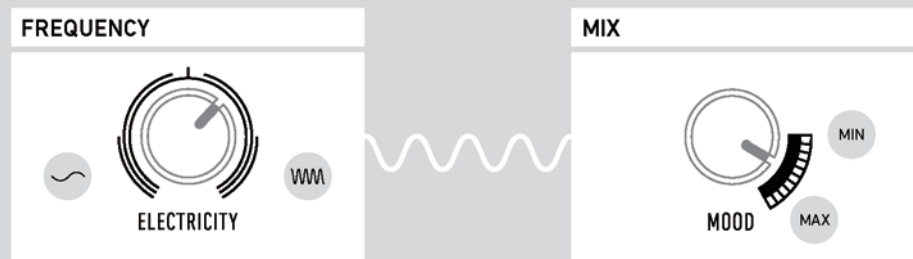
2番目のMOODゾーン(9時~11時)では、よりスタンダードなヴィンテージ・ファズ・トーンが得られます。MOODノブを動かすと、全体的なトーンとギタープレイへの反応が変わります。11時方向に近づくにつれて、よりBig Muffのようなサウンドに変化します。

3つ目のMOODゾーン(11時~1時)は、Big Muffのスタイルです。MOODノブを調整することで、トーンとBig Muffサウンドのキャラクターの両方が変化します。

4番目のMOODゾーン(1時~3時)は、Big Muff風のサウンドから、よりシャープでデジタル的なファズへと変化します。ややゲートがあったサウンドと、よりアグレッシブな倍音ハーモニクスが感じられるでしょう。

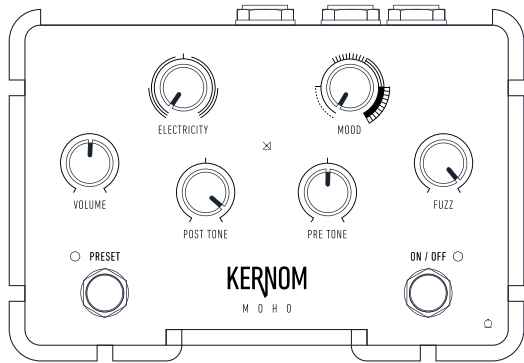
最後のMOODゾーンでは、リングモジュレーターが回路に追加され、モジュレーションの周波数はELECTRICITYノブでコントロールします。

MOODノブを右回りいっぱいまで回していくにつれて、リング・モジュレーションによって発生する倍音が徐々に信号と混ざりあっていきます。



## 5 サンプルセッティング

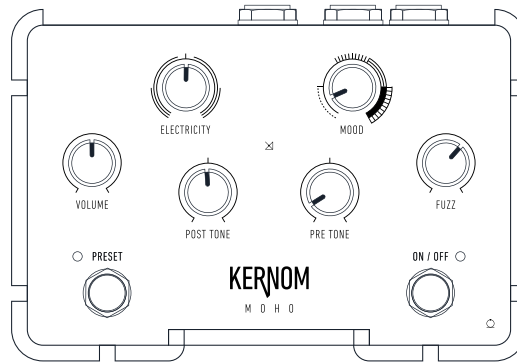
KERNOM チームが特に気に入っている幾つかの設定を紹介します。是非試してください！



### "壊れたアンプ"風オクターブ・ファズ

ELECTRICITYを最小に設定してオクターブ下のハーモニクスを追加。MOODを最小、FUZZを最大に設定。

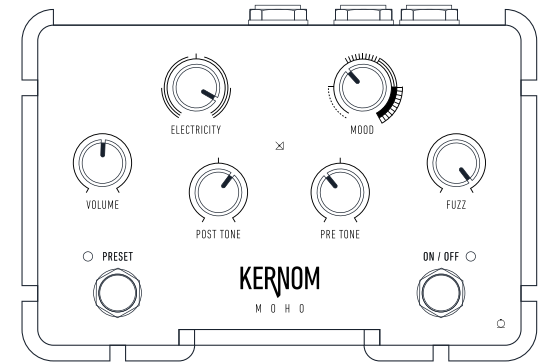
例：Marty Robbins "Don't Worry"



### ヴィンテージ・ゲート・ファズ

PRE TONEとFUZZを調整してゲート効果に変化させています。

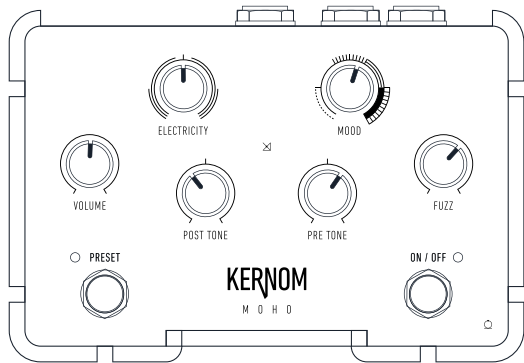
例：Jack White "Lazaretto"



### クラシック60's

PRE TONEを調整してコンプレッションを追加。

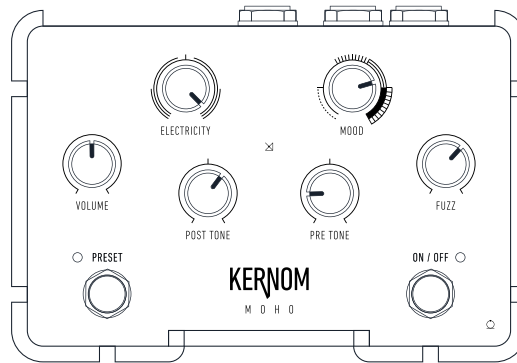
ELECTRICITYを右へ回してオクターブ上のハーモニクスを追加。



### グランジ

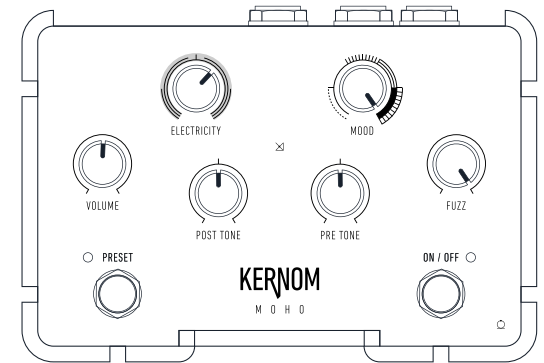
POST TONEを調整して全体のトーンを変更。

例：Sonic Youth、David Gilmour



### エッジ・マッドネス

FUZZとELECTRICITYを調整。



### ロード・オブ・ザ・リング・モジュレーション

ELECTRICITYでリング・モジュレーターの周波数を変更。



## 6 ユーザー機能 - プリセットの保存と呼び出し

MOHOはお気に入りのサウンドをプリセットとしていつでも保存ができます。

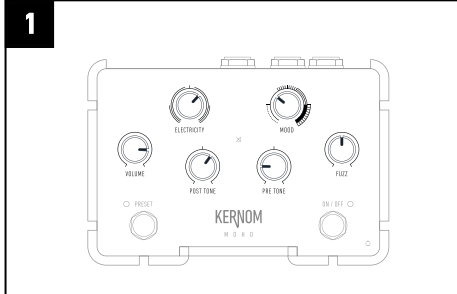
この機能は色々な方法で使用ができます：

ダーティなオクターブダウンのリフ・マシーンとして、同じトーンでELECTRICITYを左いっぱいに絞ったセッティングを保存する。

イントロのゲーテッドファズのようなサウンドと、ビッグマフのようなリード・トーンとの切替。

まるで2台のペダルを使い分けているかのように、全く異なる2つのトーンを切替。

プリセットを保存

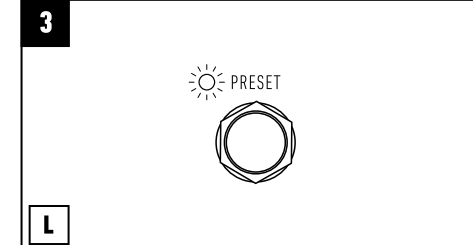


パラメーターを設定します。



PRESS AND HOLD

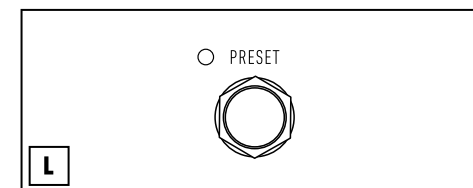
PRESET フットスイッチを2秒間長押しして Favorite Presetとして保存します。



RELEASE

PRESET LEDが白く点滅します。 PRESETフットスイッチを離して保存完了します。

プリセットの呼び出し



PRESS

PRESET フットスイッチを押すと保存されたプリセットが呼び出されます。 もう一度押すと現在のパラメーター設定に切り替わります。

# 7 ユーザー機能 - FAVORITE PRESET の編集

## FAVORITE PRESET を呼び出すとサウンドはノブの現在のポジションから切り離されます。

このプリセットを編集したいと思ってもノブのポジションを覚えていない場合があります。保存されたプリセットの1つまたは複数のノブのポジションを見つける簡単な方法は右のとおりです。

**1**



**PRESS**

PRESET フットスイッチを押して FAVORITE PRESET を呼び出します。

**2**



**PRESET**      **ON / OFF**

編集したいノブを回します。保存した値に到達するまでノブは無効です (■)。ノブを左に回すとPRESET LED、右に回すと ON/OFF LED が紫色に点滅します。

**3**



**PRESET**      **ON / OFF**

保存されたノブの値 (■) に到達するとLEDの点滅が止まり、PRESET LED が紫色に点灯したままになります。ノブはアクティブになり新しい値を設定できるようになります。



調整したいノブ全てでステップ2と3を繰り返すことで編集できます。6つのノブ全てで行うと、全てのノブがアクティブになりプリセットから解除されます。

**4**



**PRESS AND HOLD**

編集が完了したら、PRESET フットスイッチを長押しして新しい設定を保存します。

ノブがアクティブになり値が変更されプリセットがアップデートされました。ステップ1~3をやり終えた後にアクティブにされないノブがある場合は、それらの値は変更されません。

## 8 A ユーザー機能 - MIDIプリセットの編集

今ここ ▶

**オプションA**

編集したMIDI PRESETを同じスロットへ保存する (書き換え)

次のページ ▶

**オプションB**

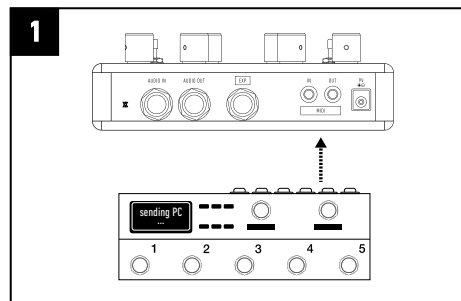
編集したMIDIプリセットをFAVORITE PRESETスロットへ保存する(コピー)

### A 編集したMIDI PRESETを同じスロットへ保存する

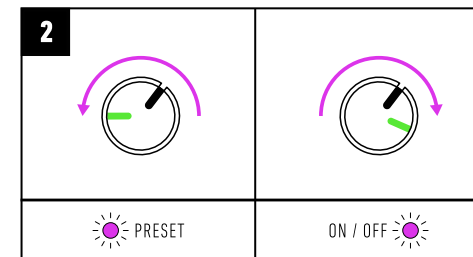
FAVORITE PRESET を呼び出すとサウンドはノブの現在のポジションから切り離されます。

プリセットを変更したいが、プリセット作成時のノブのポジションを覚えていない場合があります。

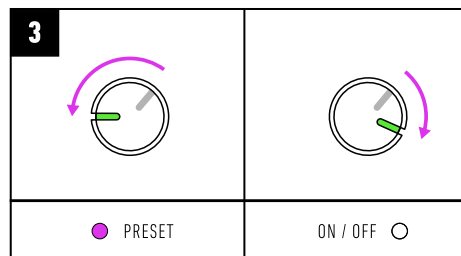
プリセットでの1つまたは複数のノブの保存ポジションを見つけるには、次の手順に従ってください：



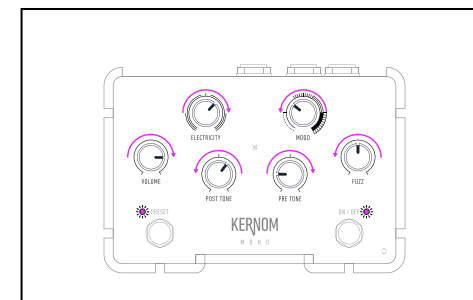
MIDIコントローラーから任意のMIDI PCを送信して、MIDIプリセットを呼び出します。



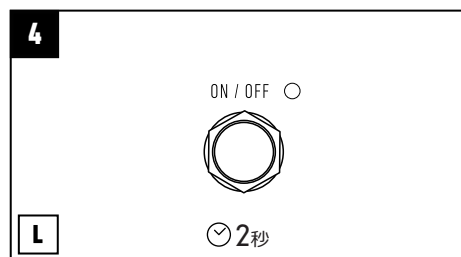
編集したいノブを動かします。  
保存された値 (■) に到達するまでノブは無効で、サウンドには影響を与えません。  
ノブを左に回すとPRESET LED、右に回すとON/OFF LED が紫色に点滅します。



保存されたノブの値 (■) に到達するとLEDの点滅が止まり、PRESET LED が紫色に点灯したままになります。  
ノブはアクティブになり新しい値を設定できるようになります。



調整したいノブ全てでステップ 2 と 3 を繰り返すことで編集できます。  
6つのノブ全てで行うと、全てのノブがアクティブになりプリセットから解除されます。



**PRESS AND HOLD**

編集が完了したら、ON/OFFフットスイッチを長押しして新しい設定を同じスロットに保存します。

ノブがアクティブになり値が変更されたプリセットがアップデートされました。  
ステップ1~3でアクティブにしなかったノブがある場合は、それらの値は変更されません。

## 8 B ユーザー機能 - MIDIプリセットの編集

前のページ ▶

### オプションA

編集したMIDIプリセットを同じスロットへ保存する(書き換え)

今ここ ▶

### オプションB

編集したMIDIプリセットをFAVORITE PRESETスロットへ保存する(コピー)

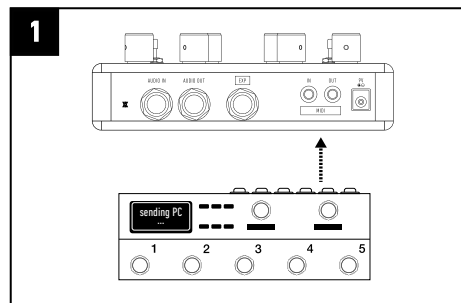
## B 編集したMIDIプリセットをFAVORITE PRESETスロットへ保存する

編集したMIDIプリセットを他のスロットに保存することも可能です。  
使用可能なスロットはFAVORITE PRESETスロット(PC 0)のみです。

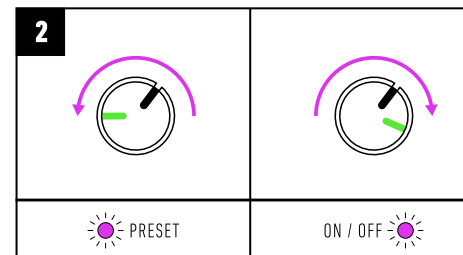
MIDIプリセットを呼び出した後、サウンドはノブの現在のポジションから切り離されます。

プリセットを変更したいが、プリセット作成時のノブのポジションを覚えていない場合があります。

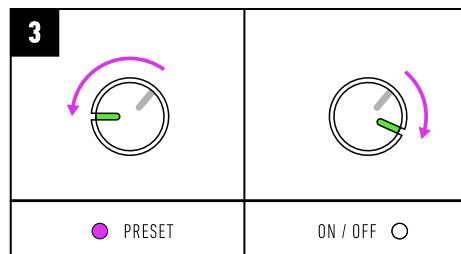
プリセットでの1つまたは複数のノブの保存ポジションを見つけるには、次の手順に従ってください：



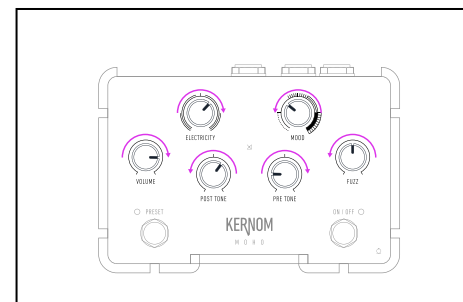
MIDIコントローラーから任意のMIDI PCを送信して、MIDIプリセットを呼び出します。



編集したいノブを動かします。  
保存された値 (■) に到達するまでノブは無効で、サウンドには影響を与えません。  
ノブを左に回すとPRESET LED、右に回すとON/OFF LED が紫色に点滅します。



保存されたノブの値 (■) に到達するとLEDの点滅が止まり、PRESET LED が紫色に点灯したままになります。  
ノブはアクティブになり新しい値を設定できるようになります。



調整したいノブ全てでステップ 2 と 3 を繰り返すことで編集できます。  
6つのノブ全てで行うと、全てのノブがアクティブになりプリセットから解除されます。



**PRESS AND HOLD**  
編集が完了したら、PRESETフットスイッチを長押しして新しい設定を同じスロットに保存します。

ノブがアクティブになり値が変更されたプリセットがアップデートされました。  
ステップ1~3でアクティブにしなかったノブがある場合は、それらの値は変更されません。

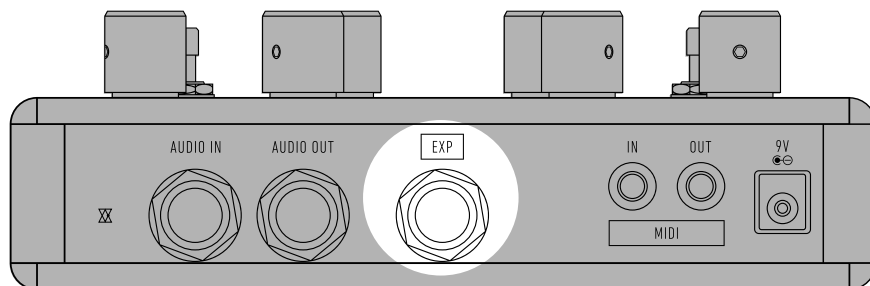
## 9 外部コントロール - エクスプレッション

エクスプレッション・ペダルを使用すると、6つのノブを同時に回しているかのように2つの異なるセッティング間をモーフィングしながら切り替えられます。

この機能で、MOHOに内蔵されているアナログ・モーフィング・コアエンジンが作り出す新たなサウンドの可能性を追求することができます。

MIDI 機能を使用しない場合、エクスプレッション・ペダルはノブで設定されているパラメーターと本体に保存されているFAVORITE PRESET の間をモーフィングしながら切り替わります。

MIDI 機能を使用すると、エクスプレッション・ペダルはノブで設定されているパラメーターと選択されているMIDI プリセット、もしくはトウとヒールポジションに割り当てられたプリセットの間をモーフィングしながら切り替わります(P. 17 - 18参照)。



### エクスプレッションペダルの使い方:

- ① ステレオTRS ケーブルでエクスプレッション・ペダルを専用ジャックに接続します。
- ② ノブのポジションで設定されているサウンド( ヒールポジション) と本体に保存されているFAVORITE PRESET(トウポジション) の間をモーフィングします。



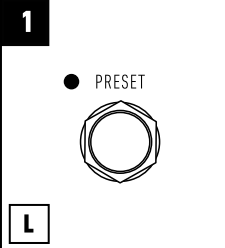
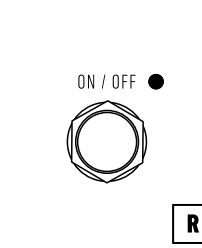
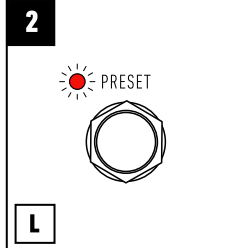
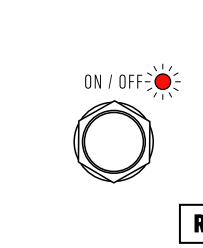
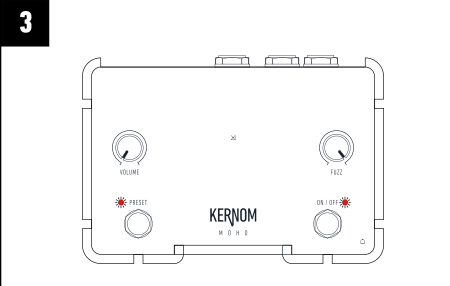
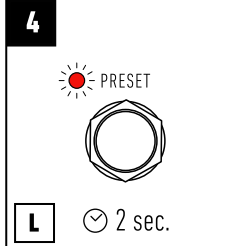
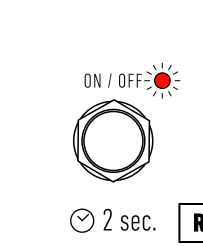
#### 注意!

内蔵プリセット(MIDI もしくはPRESET フットスイッチで呼び出したプリセット)を使用する際、エクスプレッション・ペダルは無効です。

## 10 その他の設定 - ファクトリーリセット

MOHOを工場出荷時の設定にリセットすることができます。これによりすべてのプリセットが消去され、すべての機能モード(MIDIアウト/スルー、MIDIチャンネル、入力レベルなど)が初期設定に戻ります。

工場出荷時の設定にリセットするには、手順1から4までを行ってください：

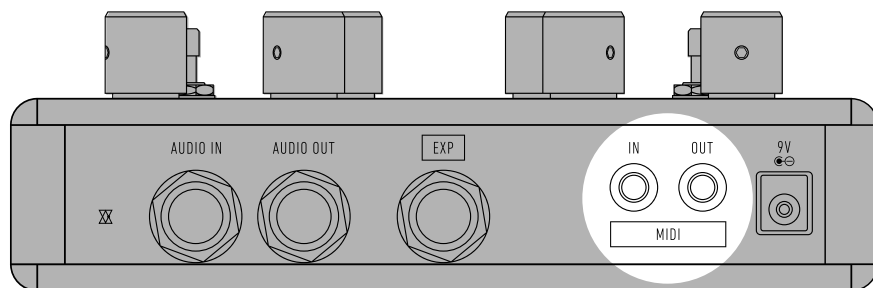
<p><b>1</b></p>  <p>L</p>	<p>ON / OFF</p>  <p>R</p>
<p>PRESS AND HOLD      PRESS AND HOLD</p>	
<p><b>A</b> 電源アダプターを接続する前に両方のフットスイッチを長押しします。</p> <p><b>B</b> 電源アダプターを本体に接続します。</p>	
<p><b>2</b></p>  <p>L</p>	<p>ON / OFF</p>  <p>R</p>
<p>RELEASE      RELEASE</p>	
<p>左右両方のLED が赤くゆっくり点滅します。両方のフットスイッチを離します。</p>	
<p><b>3</b></p>  <p>VOLUME      FUZZ</p> <p>KERNOM</p>	
<p><b>VOLUME</b> ノブと<b>FUZZ</b>ノブを最小値に設定します。左右両方のLED が赤く速く点滅してファクトリーリセットの用意ができたことを表示します。</p>	
<p><b>4</b></p>  <p>L      2 sec.</p>	<p>ON / OFF</p>  <p>R      2 sec.</p>
<p>PRESS AND HOLD      PRESS AND HOLD</p>	
<p>両方のフットスイッチを長押ししてファクトリーリセットを確定します。これでペダルが工場出荷時の状態に戻ります。</p>	

<p><b>1</b></p>  <p>VOLUME      FUZZ</p> <p>KERNOM</p>	<p><b>2</b></p>  <p>L</p>  <p>R</p>
<p>PRESS      PRESS</p>	
<p>両方のフットスイッチを押してこの操作をキャンセルします。</p>	
<p><b>FUZZ</b>ノブと<b>VOLUME</b>ノブが最小値に設定されていないことを確認します。両方のLED が赤くゆっくり点滅します。</p>	

間違えてリセットモードに入ってしまった初期設定に戻したくない場合は、電源を本体から取り外すか、左のステップ1～2に従ってキャンセルをしてください。

## 11 アドバンス機能 - MIDIの設定

### MIDI機能について

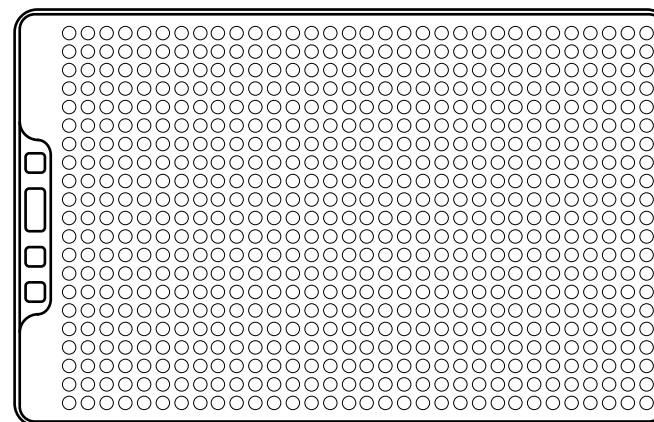
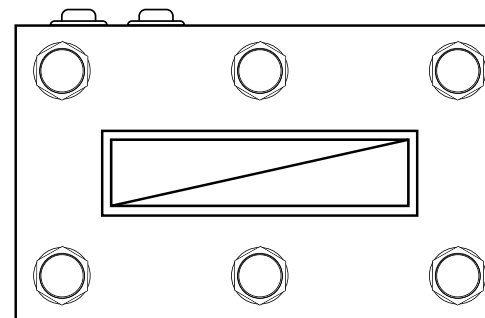
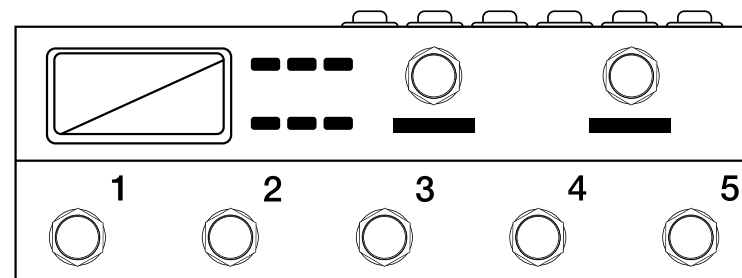


**MIDI 機能を使用すれば、MOHOに内蔵されたテクノロジーをさらに活用することができます: コンピューター、タブレット、外部コントローラーやスイッチャーでペダルをコントロールするなど、可能性は無限大です。**

MIDI では、最大128 個のプリセット\* にアクセスでき、外部MIDI スイッチャーを使用してプログラムチェンジ (PC)メッセージでいつでも呼び出すことができます。この機能はファズへのあらゆるニーズをカバーします。

また、コントロールチェンジ(CC)メッセージの使用により、接続したMIDI コントローラーでMOHOのすべての内部設定をコントロールすることができるので、ペダルとのユニークな相互作用が可能になります。

注\*: プリセットナンバー1 はFAVORITE PRESET です。P7の手順で保存することができます。

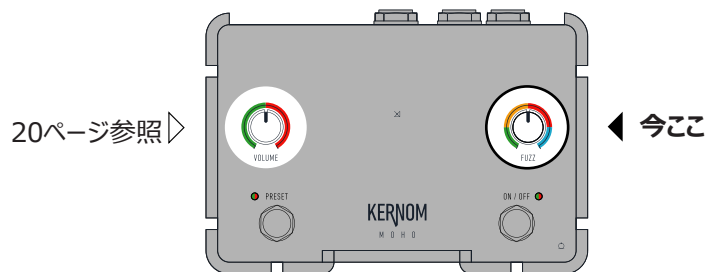


## 12 アドバンス機能 - MIDI チャンネルの設定

MOHOは初期設定で**MIDI チャンネル 1**に設定されています。

MIDI を使用する際、MOHOが他のデバイスと完璧に機能するよういつでもこの設定を変更し別のチャンネルでMIDI メッセージを受信することができます。

MOHOのMIDI チャンネルを設定するには次のステップ1～5をご参照ください。



MIDI チャンネルと MIDI THRU/OUT(P20, 参照)は、PRESETスイッチを長押ししてステップ1～5の手順を行うことで同時に設定が可能です。

**1**

● PRESET

L

**PRESS AND HOLD**

**A** 電源アダプターを本体に接続する前にPRESET フットスイッチを長押しします。

**B** 電源アダプターを本体に接続します。

**2**

● PRESET

L

ON / OFF ●

R

**RELEASE**

左右両方のLED が青く点滅したら**PRESET**フットスイッチを離します。

**3**

● PRESET	CH. 1
● PRESET	CH. 2
● PRESET	CH. 3
● PRESET	PC

FUZZ

**A** FUZZノブを回してチャンネル1～3を選択するか、青いLEDの設定にしてMIDIコントローラーから受信するMIDI メッセージのMIDI チャンネルに合わせます。

**4**

● PRESET

L

⌚ 2秒

ON / OFF ●

R

⌚ 2秒

**PRESS AND HOLD**      **PRESS AND HOLD**

両方のフットスイッチを長押しして設定を確定します。両方のLED が点滅します。

**5**

● PRESET

L

ON / OFF ●

R

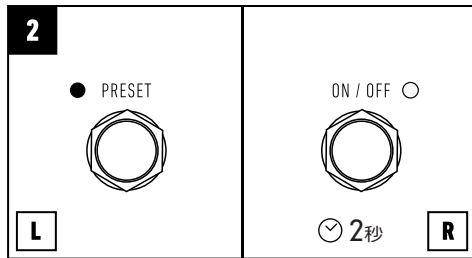
**RELEASE**      **RELEASE**

両方のフットスイッチを離すと**設定が完了します**。再設定するにはステップ1～5を繰り返してください。



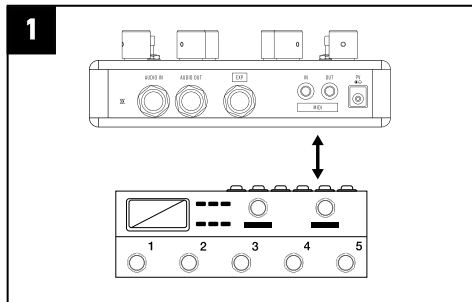
# 13 アドバンス機能 - MIDI プリセット保存 1/2

## MIDIプリセットにノブの現在の ポジションを保存する方法



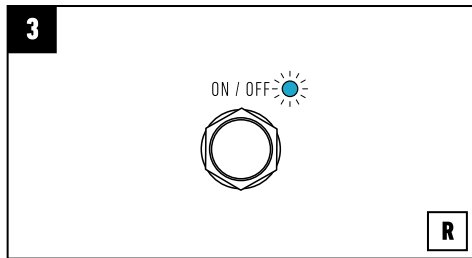
**OFF**      **PRESS AND HOLD**

PRESET LED が消灯して**PRESET モードでないことを確認**します。  
ON/OFF フットスイッチを長押しします。



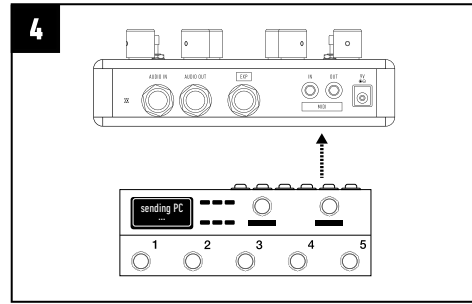
**1**

MIDI プログラムチェンジ メッセージを送信できる外部機器から MOHOのMIDI Inputへ接続します。  
(必要に応じて、MIDI 5 DINからミニジャックへ変換する外部アダプターを使用します。)



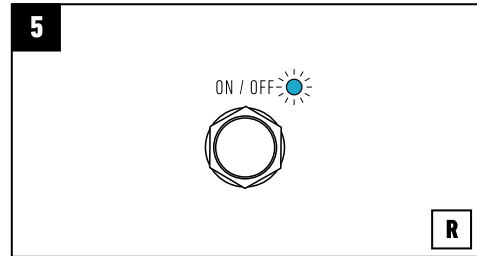
**3**

ON/OFF LED が青くゆっくり点滅してMIDIプログラムチェンジメッセージの受信を待機します。



**4**

正しいMIDI チャンネルを使用していることを確認したら、外部機器から希望の**MIDI プログラムチェンジ (PC1 ~128)** を送信します(P.14参照)。

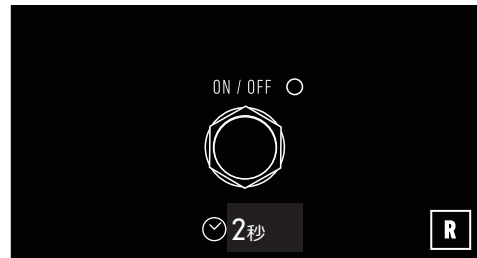


**5**

ON/OFF LED が青く素早く点滅して、メッセージの受信と保存が完了したことを表示します。

ペダルは元の状態に戻ります。

**プリセットを保存せず、  
手順をキャンセルする方法**



**PRESS AND HOLD**

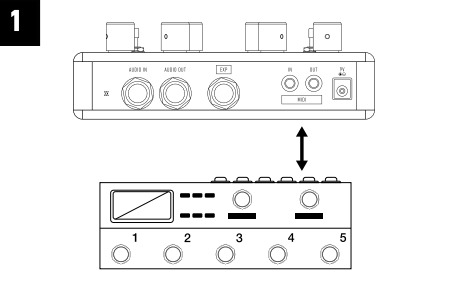
ON/OFF スイッチを長押しします。

ペダルは元の状態に戻ります。

# 14 アドバンス機能 - MIDI プリセット保存 2/2 MIDI プリセットの呼び出し

既存のMIDI プリセットの値を  
他のMIDI プリセットに  
保存する方法

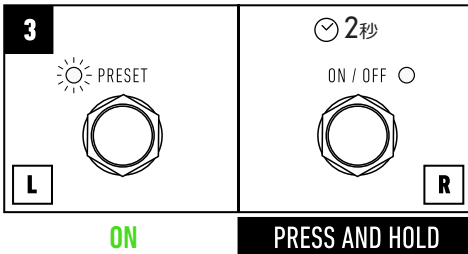
プリセットの呼び出し方法



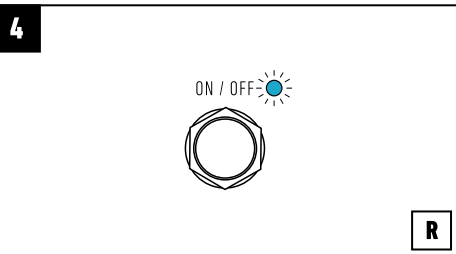
MIDI プログラムチェンジ メッセージを送信できる外部機器から  
MOHO Inputへ接続します。  
(必要に応じて、MIDI 5 DINからミニジャックへ変換する外部アダプターを使用します。)

2 コピーしたいMIDI プリセットを  
呼び出します

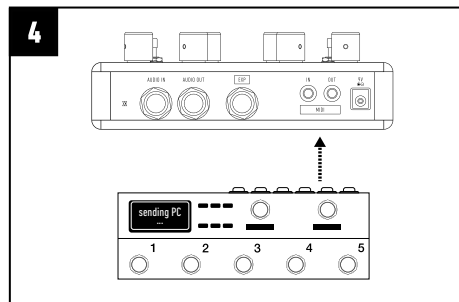
特定のMIDI プリセットを呼び出して聴くには、外部機器から  
MOHOにプログラムチェンジメッセージを送るだけで自動的に  
ペダルがONになり、希望のプリセット(PC1~128)が呼び出  
されます。



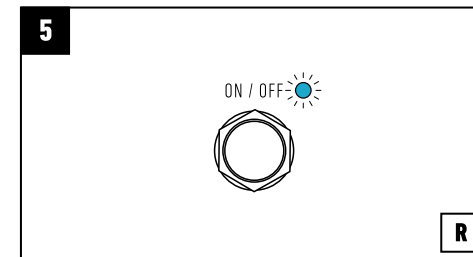
PRESET LED の色からプリセットの呼び出しが機能してい  
るか確認します: 現時点でLED (は白 \*または青で点灯してい  
るはず。)  
ON/OFF フットスイッチを長押しします。  
\* FAVORITE PRESET はプリセットナンバー1に割り当てられます。



ON/OFF LEDが青くゆっくり点滅して、外部機器からの  
MIDIプログラムチェンジメッセージの受信を待機します。

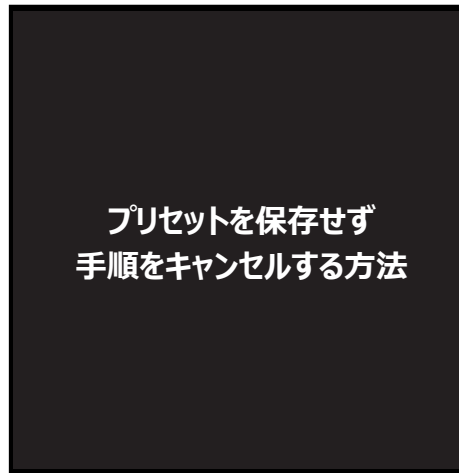


正しいMIDI チャンネルを使用していることを確認したら、外  
部機器から希望のMIDI プログラムチェンジを送信します  
(P.14参照)。

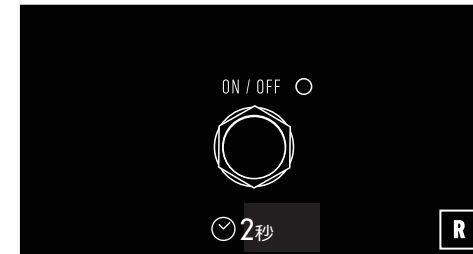


ON/OFF LED が青く素早く点滅して、メッセージの受信  
と保存が完了したことを表示します。

ペダルは元の状態に戻ります。



プリセットを保存せず  
手順をキャンセルする方法



ON/OFF スイッチを長押しします。

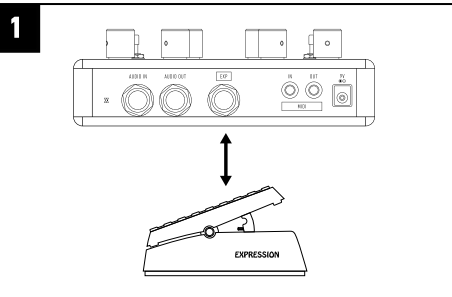
ペダルは元の状態に戻ります。

# 15 アドバンス機能 - MIDI を使用したエクスペッション・ペダルの設定 1/2

MIDI プリセットとエクスペッション・ペダルを使用する場合、ヒールポジションとトウポジションの2つのポジションにアサインすることで2つのサウンド間でモーフィングコントロールを行うことができます。

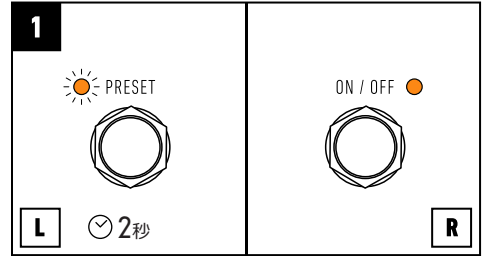
初期設定では、エクスペッション・ペダルはノブの現在の設定ポジションと保存されたMIDI プリセットの間でモーフィングします。

エクスペッション・ペダルのヒールとトウポジションに任意のMIDI プリセットを割り当てる方法:



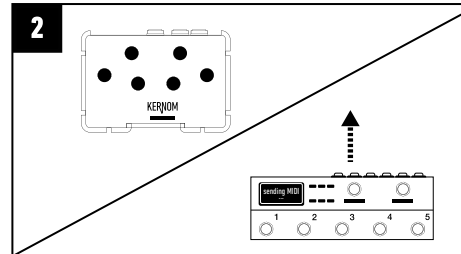
ステレオTRS ケーブルでエクスペッション・ペダルを専用ジャックに接続します。

ヒールポジションへ割り当て方法

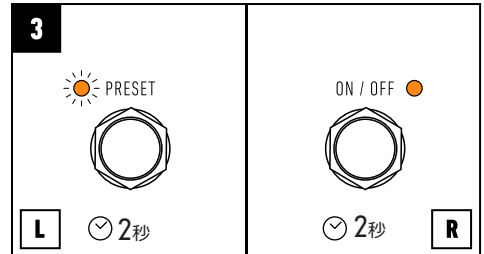


PRESS AND HOLD

PRESET フットスイッチを長押しします。  
PRESET LED が白くゆっくり点滅して、ON/OFF LEDがオレンジに点灯します。



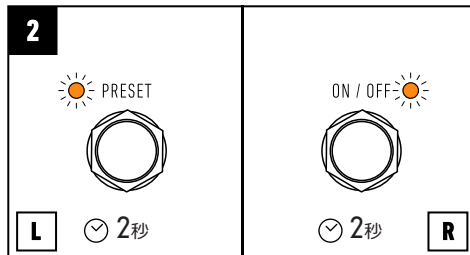
ノブを回してサウンドの設定を行うか、外部コントローラーよりプログラムチェンジメッセージを送信して任意のプリセットを呼び出します。



PRESS AND HOLD

PRESS AND HOLD

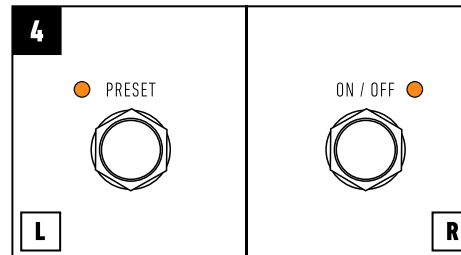
両方のフットスイッチを長押ししてヒールポジションに保存します。  
PRESET LED が素早く点滅している間、ON/OFF LED はオレンジに点灯したままです。



PRESS AND HOLD

PRESS AND HOLD

両方のフットスイッチを長押しすると、ヒールとトウの設定モードになります。  
両方のLED がオレンジ色に点灯します。



PRESET LEDの点滅が終了し、両方のLEDがオレンジに点灯します。  
これでヒールポジションへの設定が完了です。

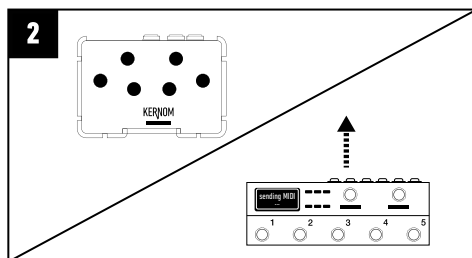


PRESS AND HOLD

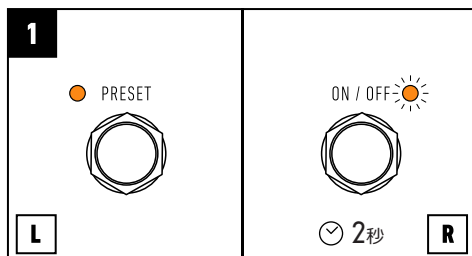
ON/OFF フットスイッチを長押しします。

# 16 アドバンス機能 - MIDI を使用したエクスペッション・ペダルの設定 2/2

## トウポジションへ割り当て方法

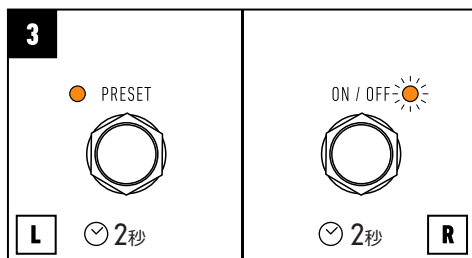


ノブを回してサウンドの設定を行うか、外部コントローラーよりプログラムチェンジメッセージを送信して任意のプリセットを呼び出します。



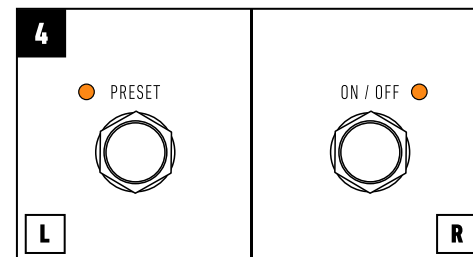
**PRESS AND HOLD**

PRESET フットスイッチを長押しします。  
PRESET LED が白くゆっくり点滅して、ON/OFF LED がオレンジに点灯します。



**PRESS AND HOLD PRESS AND HOLD**

両方のフットスイッチを長押ししてトウポジションに保存します。PRESET LEDが素早く点滅している間、ON/OFF LEDはオレンジに点灯したままです。



PRESET LED の点滅が終了し、両方のLED がオレンジに点灯します  
トウポジションの設定が完了です



**PRESS AND HOLD**

ON/OFF フットスイッチを長押しする。

## ヒールとトウポジションの設定モードを終了して、ペダルをアクティブな状態に戻す方法



**PRESS AND HOLD PRESS AND HOLD**

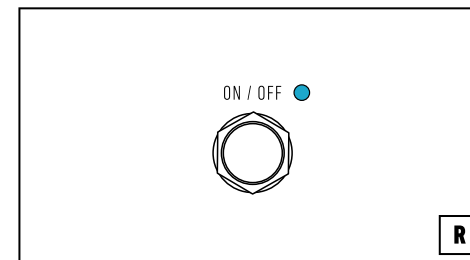
両方のフットスイッチを長押しします。  
両方のLED がオレンジに素早く点灯して確定します。  
LED がエクスペッション・ペダルの手順開始以前の状態に戻ります。

## 17 アドバンス機能 - MIDI CC 入出力

MOHOはMIDI コントロールチェンジ(CC)を受信できるので、下記のコードを使用して外部機器からコントロールがの可能です:

1	CC20	ELECTRICITY	min=0 max=127
2	CC21	MOOD	min=0 max=127
3	CC22	VOLUME	min=0 max=127
4	CC23	POST_TONE	min=0 max=127
5	CC24	PRE_TONE	min=0 max=127
6	CC25	FUZZ	min=0 max=127

1	CC26	EXP	min=0 max=127
2	CC27	FS preset	min=0 max=127
3	CC28	FS on/off	min=0 max=127



**MIDI コントロールチェンジ(CC)がMOHO へ送信されると、ON/OFF LED が青く点灯し(CC20 ~ CC25)、ペダルがMIDI 機能を使用中であることを表示します。**

MOHO はMIDI OUTPUT から外部機器へMIDI コントロールチェンジ(CC)を送信して外部機器をコントロールすることも可能です。

その際には、MIDI コントロールチェンジ(CC)メッセージでそれぞれのポテンショメーターの現在のポジションが送信されます。

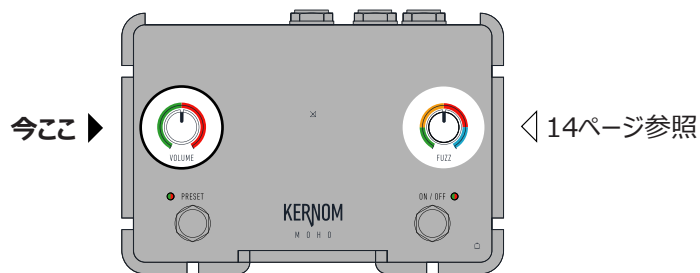
# 17 アドバンス機能 - MIDI THRU/MIDI OUT の切替え

MOHOの初期設定はMIDI THRUで機能するように設定されています

設定がTHRUの場合、ペダルはMIDI INPUTで受信したMIDIメッセージをMIDI OUTPUTからそのまま送信します。

このMIDI THRUモードから、現在のノブ設定やエクスプレッション・ペダルからの入力信号をMIDIメッセージとして出力するMIDI OUT モードに切り替えることができます。

MIDI THRU からMIDI OUT に切り替えるには次のステップ1～5をご参照ください:



MIDI THRU/OUT とMIDI チャンネル(P14.参照)はPRESET フットスイッチを長押しして、ステップ1～5で説明されている手順で同時に設定できます。

**1**

**L**

**PRESET**

**PRESS AND HOLD**

**A** 電源アダプターを本体に接続する前にPRESET フットスイッチを長押しします。  
**B** 電源アダプターを本体に接続します。

**2**

**L**

**PRESET**

**R**

**ON / OFF**

**RELEASE**

両方のLED が青く点滅します。  
**PRESET**フットスイッチを離します。

**3**

**MIDI THRU**

**MIDI OUT**

**VOLUME**

**PRESET**

**MIDI THRU**

**PRESET**

**MIDI OUT**

VOLUME ノブを回してMIDI THRU とMIDI OUT を選択します。

**4**

**L**

**PRESET**

2秒

**R**

**ON / OFF**

2秒

**PRESS AND HOLD** **PRESS AND HOLD**

両方のフットスイッチを長押しして確定します。  
 両方のLED が選択されたモードの色(MIDI THRU=緑、MIDI OUT=赤)に点滅します。

**5**

**L**

**PRESET**

**RELEASE**

**R**

**ON / OFF**

**RELEASE**

両方のフットスイッチを離して設定を完了します。  
 変更するには1～5の手順を繰り返してください。